

# 関東最東端の灯台 犬吠埼灯台



# 千葉

## — 明治初期建設の登録有形文化財 —

犬吠埼灯台は関東の最東端銚子に建設された高さ31mの灯台です。明治初期に日本の灯台を30基近く建設した「日本の灯台の父」と呼ばれるイギリス人技師R. H. プラントンにより建設された灯台の1つです。

灯台はレンガ造で、官舎などの付属施設も含め国産レンガ19万3千枚が使われました。灯台の内部を上る石造階段は99段であり、この段数は九十九里浜由来とのいわれがあります。また、この灯台には最大級の第1等レンズが使用されています。この付近は海霧の発生が多い地域で、霧信号所も併設されておりました。霧笛は平成20年に廃止されましたが、現在でも灯台構内にかまぼこ型の霧信号所を見ることができます。

犬吠埼灯台では航路標識事業の周知啓蒙のため、公益社団法人「燈光会」により参観事業を実施しており、灯台の上まで登り景色を楽しむことができます。灯台構内には資料展示館も併設され灯台の歴史などを知ることができます。ぜひ、犬吠埼灯台に足を運んでみてください。

お問い合わせ先

公益社団法人 燈光会 犬吠埼支所

TEL 0479 - 25 - 8239

HP <http://www.tokokai.org/archive/data/index.htm>

参観時間:8:30~16:00

管理事務所:銚子海上保安部

住所 千葉県銚子市川口町2-6431

TEL 0479 - 21 - 0118



### 犬吠埼灯台の要目

所在地 千葉県銚子市

点等年月日 明治7年11月15日

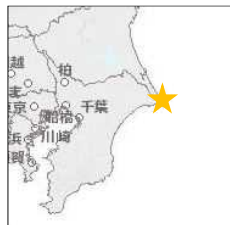
光り方 単せん白光

毎15秒に1せん光

光達距離 19.5海里(36.1km)

高さ 31m

(地上から建造物の頂部まで)



☆灯台150周年

日本初の洋式灯台である「観音埼(かんのんさき)灯台」(神奈川県横須賀市)は、明治元年11月1日に起工されました。平成30年はそれから150周年の節目を迎えます。



インフラ  
ツーリズム